



イーヴォ・ポゴレリッチ
The Legendary Romantics

IVO POGORELICH

The Legendary Romantics

[5/7] S¥17,000 A¥14,000 B¥11,000 C¥7,000

[5/9] S¥15,000 A¥12,000 B¥9,000 C¥5,000

2公演セット券¥32,000 + プログラム引換券付

S席で同じ座席となる「マイシート」をご用意いたします。

1st Night-Concerto

2012年5/7(月)19:00

サントリーホール

Monday May 7, 2012 at 7 p.m. Suntory Hall

指揮: 山下一史

Kazufumi Yamashita, Conductor

弦楽合奏: シンフォニア・ヴァルソヴィアのメンバー
Sinfonia Varsovia, Strings

ショパン: ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

Chopin: Piano Concerto No.1 in E minor op.11

ショパン: ピアノ協奏曲第2番 ヘ短調 op.21

Chopin: Piano Concerto No.2 in F minor op.21

(両曲とも弦楽合奏版)

ほか

2nd Night-Solo Recital

2012年5/9(水)19:00

サントリーホール

Wednesday May 9, 2012 at 7 p.m. Suntory Hall

ショパン: ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 op.35「葬送」

Chopin: Piano Sonata No.2 in B-flat minor op.35

リスト: メフィスト・ワルツ第1番 S.514

Liszt: Mephisto Waltz No.1, S.514

ショパン: ノクターン ハ短調 op.48-1

Chopin: Nocturne in C minor op.48 No.1

リスト: ピアノ・ソナタ ロ短調 S.178

Liszt: Piano Sonata in B minor S.178



Legendary Romantics ～ 天国と地獄の狭間で

イーヴォ・ポゴレリッチは22歳の時に参加したショパン・コンクールでの逸話で一躍有名になり、クラシック界の異端児として1980～90年代には名録音を次々と発表。その個性と圧倒的なピアノでピアノ界の頂点へと登りつめるかと思いきや、2000年を境に演奏活動をぱったりと止めてしまった。そして復帰してからの演奏は、異常なまでに緩急の幅をきかせたテンポと不気味なまでに極端なアクセントやリズムのつけ方で、我々の度肝をぬいた。

そのポゴレリッチがまた日本にやってくる。第一夜はポーランドの精鋭オーケストラ、シンフォニア・ヴァルソヴィアの弦楽アンサンブルとの共演。あれだけ頻りに演奏されるショパンのピアノ協奏曲第1番をポゴレリッチが初めて公の場で弾いたのはつい最近のことで、もちろん今回は日本初である。第二夜のリサイタルは一晚にしてショパンとリストの大作を聴くことができる伝説的なロマン派作曲家へのオマージュ。

ポゴレリッチの、時には「行き過ぎではないか」と思うほど個性的な解釈も、彼にとっては必然なのであろう。その演奏を聴くと聴衆は自問せずにはいられない。「これは夢ではないだろうか」と。耽美に満ちた極端なまでのロマンティズムに酔いしれるのも束の間、悪魔的な連打で崖から突き落とされ、そして死の淵のおどろおどろしさから這い上がるうともがき苦しむことになる。時には原曲を忘れてしまうほど極端にデフォルメされた彼の演奏解釈に嫌悪感を抱く人もいだろう。しかしいったん曲を解体し彼なりのやり方で再構築する時、それが原曲の形からいかに逸脱しようと、魔術的な吸引力によって身体に染み込んだ音楽をもう忘れることはできない。

これほどまでに、ピアノという楽器の可能性を最大限に引き出すことができるピアニストはいま他に誰がいるのだろう。その特異な演奏解釈とステージから放たれる異様なアウラによって、もしかしたら聴衆は、コンサート後に生気を抜き取られてしまうかもしれない。ポゴレリッチと共有する時間、それは一種の「賭け」である。陶醉に満ちた甘美な夢か、はたまた熱にうなされる悪夢なのか。しかしそこで体験するめくるめく時間は、聴衆ひとりひとりの人生に「伝説」として刻まれる可能性を確実に秘めている。

イーヴォ・ポゴレリッチ(ピアノ) Ivo Pogorelich, Piano



1958年ベオグラード生まれ。12歳からモスクワの中央音楽院で、その5年後からはチャイコフスキー音楽院で勉強を続けた。1976年からは著名なグルジア人ピアニストで教育者のアリス・ケゼラーゼに師事。

数々の国際コンクールの優勝に続き、1980年のショパン国際コンクールで本選を前に彼を落としたことについての論争と、それに抗議して帰国してしまった審査員のひとり、マルタ・アルゲリッチの「だって彼は天才よ!」という言葉によって一躍脚光を浴び、世界的に注目される存在となった。

1981年のカーネギーホールでのデビュー・リサイタル以来、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、日本、オセアニア、南米、イスラエルなどで活躍、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ボストン響、シカゴ響、フィラデルフィア管、ロサンジェルス・フィル、ロンドン響など世界有数のオーケストラや、アバド、小澤ら名指揮者と共演を重ねている。

1981年、ドイツ・グラモフォンからレコード・デビュー。以来、10数点のCDがリリースされ人気を博している。

数年間の療養期間を経て、2005年10月、6年ぶりに来日。大論争を巻き起こす型破りな演奏を披露し、完全復活を果たした。2007、2010年にも来日、リサイタルのほかマスタークラスも行い話題を呼んだ。

イーヴォ・ポゴレリッチ Ivo Pogorelich



ショパン: ピアノ協奏曲 第2番 ポロネーズ 第5番

アバド指揮シカゴ交響楽団
録音:1983年
CD●UCCG-4430
定価¥1,600

発売・販売元:ユニバーサル ミュージック



ショパン: ピアノ・ソナタ 第2番 《葬送行進曲》

前奏曲 作品45、
スケルツォ 作品39
夜想曲 作品55の2
練習曲 作品10の8
10の10、25の6

録音:1981年
CD●UCCG-4431
定価¥1,600



リスト: ピアノ・ソナタ 短調 スクリャービン: ピアノ・ソナタ 第2番 《幻想ソナタ》

録音:1990年
CD●UCCG-4434
定価¥1,600

ザ・オリジナルス Special
OIBPリマスターリング/ルビウム・カッティング

ショパン:ピアノ・ソナタ 第2番《葬送行進曲》
ラヴェル:夜のガスパーール
プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ 第6番《戦争ソナタ》

録音:1981年、1982年 CD●UCCG-4674 定価¥1,600



ユニバーサル ミュージックのホームページで 商品が購入できるようになりました! (一部商品を除く)
詳細は <http://www.universal-music.co.jp/classics/>

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00～18:00)もご選択いただけます。
ホームページからもお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

【カジモト・イープラス】 <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 163-940[5/7]/163-942[5/9])

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999

twitter @kajimoto_News

カジモト・イープラス

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。

iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応

チケットもご購入いただけます。



【2公演セット券】
3/10(土)12:00～3/13(火)18:00
受付電話番号 TEL: 0570-06-9960

【単券】
カジモト・イープラス会員限定先行受付: 3/20(火)12:00～3/24(土)18:00
先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00～18:00(初日のみ12:00より受付)]

一般発売: 3/31(土)10:00～

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。